

ウムチョ ムィーザ通信

No. 47

ルワンダ語で「良い文化」の意味を表します。

総会を終えて

NPO法人ルワンダの教育を考える会
理事長 永遠瑠マリルイズ



「ルワンダの教育を考える会」を支えていただいている皆様に感謝申し上げます。総会内容を承認していただき、2017年度の活動へ向けて共に歩んでいきたいと思います。今回の総会では、ウムチョムィーザ学園への支援の在り方について論議されました。

学園にはこれまで毎月一定額の財政支援を行ってきましたが、学園も設立以来15年が経過し自立を考える時期にきています。日本側の支援ありきの体質を改善するためにも支援のスタイルを見直し、学園からの申請に対し必要な財政支援を行う方式に改め、学園の自助努力と自立化を促していきたいと思います。

また、これまで学園のみを支援してきましたが、今後はルワンダの貧困地域にも目を向け、そこに暮らす子ども達の支援にも取り組むことにしました。学園支援と貧困地域支援を行い文字どおり「ルワンダの教育」を考えて活動してまいります。



今回1月24日から4月20日まで、1998年以来初めてルワンダに長期滞在することが出来ました。ルワンダの内戦から23年が経ち、発展していく一方で、失業率が高く貧富の差が拡大しているように感じました。そこで、学園の運営状況をお知らせします。

ウムチョムィーザ学園の建設と運営を無我夢中で支援してきましたが、今回改めて実態を知り、子ども達の成長のために何が必要か？と考えたとき運営と同時に教育の質を高めることにたどり着きました。昨年度JICAの草の根プロジェクトにより日本で学んだ教職員が、ルワンダに帰国後、校内研修で意見を交換し授業の資質向上のために専門家の指導を受けながら気合いを入れていることを感じました。この事業が終わるころには地域のモデルとなるように見守っていききたいと思います。



気づいた二点目は、自然と共生することの大切さを感じました。「命のサイクル」これこそ教育の根本ではないかと先生方と語り合うことが出来ました。朝顔や野菜の栽培を通じて理科の授業に取り組む姿勢が変わりました。

そしてもう一つ、いろいろな日本の方々の支援で出来た図書室の活用を考えたとき、今回ルワンダに滞在中の望月さんに司書の役割をしていただき、子ども達と心が通い合っていることに感謝したいと思います。さっそく読書感想文に成果が表れました。



今回の長期滞在で子ども達が近代社会の中で大切なことを見失わないで、人として生きるための教育をしていくことが大切であると感じました。経済力と豊かな心をどのように両立し、支援していったらよいのか？今何人の子ども達が経済的に困っているのか？精神的に何人が困っているのか？具体的に寄り添い、学園運営責任者と考える会のお互いの理解のもとで取り組まなければならないという課題をいただいて帰ってきました。これからもJICAのプロジェクトを進めると同時に学校運営も見守り続けます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

最後にルワンダの中心から離れたミオベというところで、いまだに何日も体を洗えない、いつ食事をしたのかわからない裸足の子ども達が体を寄せ合って温めあっている姿を目のあたりにしました。子ども達の未来のために何をすべきか一緒に考えていきたいと思います。



ウムチヨ ムィーザ学園の会計報告 2017年度1学期(1月1日～3月31日)

学費の納入状況の報告

*2017/3/31現在時価換算による

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	10	14	5	15	33	18	34	29	28	186	2,070,180
その他	0	8	6	10	5	13	13	11	2	68	458,670
0%	1	5	3	5	4	4	3	1	1	27	0
合計	11	27	14	30	42	35	50	41	31	281	2,528,850
予算額											3,127,530
不足金額											598,680



1人あたり=75,000ルワンダフラン(約 9,821円)から
1人あたり=85,000ルワンダフラン(約11,130円)に値上り



2017年1月1日～3月31日会計報告 *2017/3/31現在時価換算による

〔収入〕

〔支出〕

単位:円

項目	金額	項目	金額
学費	2,528,850	給料/手当	1,557,800
入学登録料	19,641	社会/健康保険料	387,094
学校保険掛金	0	所得税	433,717
パソコン教室収入	0	光熱費	16,505
ピアノリース収入	0	通信費	41,299
制服/学用品販売	61,222	印刷費	61,620
ユニホーム作成室賃貸	0	旅費交通費	80,241
バス運行収入	0	会議・研修費	72,450
水販売収入	1,271	施設維持費	95,869
アンテナリース収入	0	外部監査/弁護士料	6,547
家賃収入	78,565	医療保険料・治療費	11,667
その他の収入	6,809	市税	21,831
給食費	984,932	給食経費	459,472
考える会からの支援	0	備品	0
個人寄付	548,643	建設/リフォーム	0
補助金	0	交際費	60,135
繰越金	481,241	銀行手数料	3,577
		制服/学用品	3,274
合計	4,711,174	合計	3,313,098

残金

1,398,076

日本の円を
ルワンダへ送
金すると、日々
金額が変動す
るので、毎学期
の報告額を単
純に比較できな
いので、おおよ
そのお金の動
きとしてご理解
願います。



今回、考える会
からの支援が0円
になっています。
学園からの申請
を待っています。



望月優子プロジェクト報告



ルワンダの教育を考える会の皆さま、初めまして。望月優子と申します。現在ルワンダのキガリに在住です。自己紹介をさせていただきますと、夫の駐在により、家族で2015年の10月にキガリに引っ越して参りました。2017年4月現在6歳と3歳の息子がおります。下の息子が学校に行くようになりましたので空いた時間を使って何かお手伝いをするのではないかとルイズさんに伺ったところウムチョムイーザ学園で読み聞かせができそうですね、というお話を頂きました。

学園に図書室という場所があるのだけれど上手く活用されていないということで、訪ねてみると長年使われている様子がなく、不要なものも多く保存されている状態でした。

読むということに対する喜びを小さい頃に味わい、その後生涯に亘って読む習慣を持って育っていけるようにするために貴重な図書室という場所をぜひ活用したいという想いに駆られました。そのためには、ウムチョムイーザ学園の図書室にある絵本だけでは不十分な状況だと判断し、絵本を買うための資金調達プロジェクトを昨年11月に立ち上げました。<https://readyfor.jp/projects/picturebookstorwanda>)ウムチョムイーザ学園やルワンダの状況を知ってもらうきっかけになるかも知れないと希望を持ちながら自分のお友達を中心にインターネットで情報を拡散した結果、ありがたいことに1カ月で86万円のご寄付を頂くことになりました。

そのご寄付により、キニヤルワンダ語と英語の絵本を中心に、その他教科書と教材のフリップチャートを購入。そして絵本をきちんと貯蔵するための棚を作って設置しました。



2月20日には、幼稚園児・小学生の前にて贈呈式を行い、子ども達に日本の方々の応援で図書室に絵本を揃えることが出来たこと、絵本を楽しみながら大事に後輩に引き継いでほしいということをお伝えしました。

その後、3月28日には、学園の先生ご自身たちも小さい頃に絵本を読んでもらったという経験が少ないので、図書室を整える大切さと読書が与える影響や本の楽しさを伝えることを目的に、先生を対象に研修を行う時間を頂きました。<https://readyfor.jp/projects/picturebookstorwanda/announcements/53739>)

4月、ルワンダの学校では、大虐殺の追悼時期と共に春休みに入ります。その休みが終わると、図書室には既に先生と共に訪れる子ども達の姿がありました。私が新しい絵本に学園のスタンプを押す作業をしていると、幼稚園の先生が早速かわいらしい10人の園児を引き連れて図書室に来てくれました。研修での先生方には、やや受動的な様子も伺えたのでどうなることか心配したのも杞憂に終わり幼稚園児は、読み聞かせに目を輝かせて興奮した様子でした。

その次の日も、私が図書室に居ない日でしたが、事務所の職員が6年生が図書室を活用している様子の写真を送ってくれました。まだ十分と言える量ではありませんが、子ども達も先生も嬉しそうに訪ねて来てくれるのが嬉しいです。読むことの喜びを伝えていけるようこれからも先生方を主体にしながら必要なときはサポートが出来るよう関わっていけたらと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



2017年4月29日

NPO法人ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所からの報告

考える会現地事務所 コーディネーター エマニュエルより



- 目的 いままで日本の考える会が中心となって企画していただきましたが、現地事務所が機能することによって、支援を受ける人々の近くで活動することで、より効果的な支援を出来るようにする。

考える会を支援してくださっている方々の想いを現地でつなげてお互い良かったと思える働き方をしたいと思っております。よろしくお願いします。

- 経過 2016年5月からルワンダでNPO法人ルワンダの教育を考える会が現地のNGOとして認可されるための準備を進めてきました。2016年9月7日に登録が許可され、2016年12月29日に管轄である入国管理局で交付式に出席して許可証を受領してきました。

現在は、ウムチョムイーザ学園の1室を借りて考える会ルワンダ事務所を運営していますが、8月には近くに引っ越す予定です。

- 運営 常駐スタッフ3人とマリールイズ・斎藤照子・カリオペ・運転手7人で運営しています。

現地事務所の主な仕事として、①ウムチョムイーザ学園運営支援②JICA算数プロジェクト（下段参照）③各種団体との連携及び情報収集④貧困地域への緊急食糧支援⑤各種プロジェクトの事前調査⑥行政への各種申請・報告などの現地業務を日本側と連携して行います。



実施中の算数プロジェクトは、JICA（日本政府）・ガサボ郡首長（ルワンダ政府）・ADESOC（学園運営母体）・ルワンダの教育を考える会の4団体が関わるプロジェクトで、毎回の研修会準備はもちろん、日程調整や関係団体との連絡など、現地事務所としての役割が一層重要になりました。毎月定期的に行っている校内研修の準備は、現地事務所のエマニュエル・ADESOCのイポリテ・庶務会計をエスペランセが担当しています。また、学園の財政支援や貧困地域支援など活動内容を定期的にルワンダ政府に報告することが義務付けられ、NGO団体としての公的役割と責任が求められています。（NGO登録は毎年申請更新）

1月には、学園での校内研修（広瀬さんに算数2回と全教科2回の研修を準備していただきアキリさんが実施）とガサボ郡キミロンコ地区で貧しい学校2校の給食支援及びキミロンコ地区内の小学校健康診断実施のための行政との協定を結びました。算数プロジェクトをキミロンコ地区に定着させる事業を中心に、情報公開に耐えうる確実な公的な仕事として進めて参ります。教師が自信をもって指導し、子ども達がわかる授業で自信をもって学び、自ら考え平和を構築できる人材を育成させたいと願っています。



「ルワンダの小学校教員の算数指導力向上プロジェクト」（JICA 受託事業）概略

目 的 キミロンコ地区（学園周辺地区）小学校 11 校の教員の算数指導力の向上

概 要 プロジェクト期間 2016 年 11 月～2019 年 2 月

ステップ 1	日本研修で日本での学校教育・研究授業の実態を学ぶ
ステップ 2	ウムチョムイーザ学園で身近な教材を使用して校内研修を繰り返し行う
ステップ 3	ウムチョムイーザ学園で校内の教員を対象に研究授業を行う
ステップ 4	ウムチョムイーザ学園でキミロンコ地区の教員を対象に公開授業を行い、研究の成果を発表する

予 算 JICA から 990 万円 考える会から約 300 万円

平成28年度通常総会報告

平成29年6月10日（土）福島市民活動サポートセンターにて開催された通常総会の概要を報告いたします。



1、平成28年度事業報告

- (1) マリールイズが学校、公民館、各種団体からの依頼を受けて全国55か所で講演活動。
- (2) 異文化理解のイベント事業として、Rwandaful Summer2016を郡山市で開催。ルワンダ大使がこれまでの支援活動に感謝の言葉を述べられた。法人設立15周年記念事業として、ルワンダのウムチョムイーザ学園とネット中継を行い学園の子ども達と会場が歌で交流した。
- (3) ルワンダの教育支援事業
 - ① ウムチョムイーザ学園運営費支援
昨年11月29名の卒業生が全員中学校に進学、学園の卒業生は2007年の第1回から数え10回目、合計265名が巣立った。学園支援は運営費、ランチサポート、教材費等、約311万円を送金した。
 - ② 子どもの健康プログラム2016（フェリシモ基金助成事業）
岡山県の医療チームと連携し昨年9月8～9日、学園の健康診断を実施。91人を診断し半数に虫歯、へそヘルニア、肥満などの病気が見つかり早期発見と治療で保護者から感謝されている。また、衛生環境改善のため貯水タンクを設置し手洗いと看護師の常駐体制をとっている。
 - ③ 行政（ガサボ郡）からの要請により貧困環境の中学校の給食費補助を行った（285,000円）
- (4) 東日本大震災復興支援事業
昨年に続き、原則毎月第3水曜日に二本松市の平石、岳下の仮設を訪問しルワンダカフェを開催した。
- (5) 小学校教員の算数指導力向上プロジェクト（JICA受託事業）
学園の周辺地区であるキミロンコ地区の小学校教員の算数指導力を向上させる目的で、教員としてのスキルアップに努めている。

(6) 事務局関連

福島の事務局に常勤職員を配置、またルワンダでも当会がNGO承認されたので現地事務所を設置し、ルワンダでの広範な地域での活動に取り組む。

2、平成29年度事業計画

基本的には、ウムチョムイーザ学園の支援を継続しながら、更に広範な地域でも教育支援の事業をすすめる。

- (1) 学園の自立化促進と財政支援：
これまでの定額支援から、学園からの申請に対して必要額を支援。
- (2) 子どもの健康プログラム2017（フェリシモ基金助成事業）：
健康診断定着と若い医学生とのセミナー開催
- (3) 小学校教員の算数指導力向上プロジェクト（JICA受託事業）：校内研修の継続と今秋に研究会開催
- (4) その他継続事業：講演活動、Rwandaful Summer2017、ルワンダ写真展など

平成29年度役員紹介

理事長	永遠瑠マリールイズ	副理事長	阿部 貞夫
副理事長	倉持 睦子	理事	斎藤 照子
理事	本田 啓之	理事	穴戸 なつ美
理事	大槻 美智子	理事	大和田 紋子
理事	鈴木 恵子	監事	

事務局長
永遠瑠ルーシー

平成28年度収支計算書		
[収入の部]	H28.4.1～29.3.31	
会費	450,000	正会員
	690,000	賛助会員
講演活動	2,240,145	講演謝礼、旅費
販売活動	2,696,103	コーヒー、紅茶、書籍
JICA委託	3,613,032	算数指導力向上プロジェクト
助成金	1,022,455	フェリシモ、東日本大震災支援
寄附金	7,212,756	
500円寄附	544,000	48名
奨学基金寄附	90,816	
ランチサポート	300,000	トイレ設置
募金	12,561	
指定寄附	56,800	熊本震災募金
その他	291,805	コンサート、利息44円
合計	19,220,473	
[支出の部]		
学園運営費	2,832,429	学園運営費35万*6か月、設備費
ルワンダ教育支援	285,000	キミロンコ地区中学校給食費補助
NGO事務所経費	314,465	事務所経費、現地活動費
JICA受託事業	3,649,795	算数指導力向上プロジェクト
国内事業費	663,931	コーヒー、紅茶、資材費
	894,031	カリオベ奨学金
	2,275,547	旅費交通費通信費
	1,200,000	給与手当
	399,956	熊本震災、ルワンダカフェ
	183,095	コンサート
管理費	912,508	給与、法定福利
	2,362,199	会議費、家賃、水道光熱、租税公課
合計	15,972,956	
残高	3,247,517	
前年度繰越	4,781,701	
次年度繰越	8,029,218	



「ルワンダからのたより」

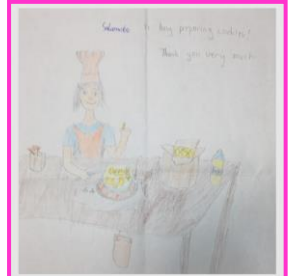


1. ウワセ・リリオセさんより

○会員の坂本さんがプレゼントしたクッキーのお礼

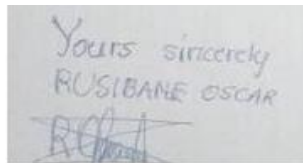
お元気ですか？そちらの生活はいかがですか？私はウムチョムイーザ学園の6年生です。私は父と兄妹4人の5人家族です。私たちの母は2010年に亡くなりました。母の料理はとてもおいしかったです。兄2人は遠くの中学校と高校の寄宿舎で頑張っています。家には私と妹と父の3人で暮らしています。食事を作るのは私です。母のようににはできませんが、父と妹のために頑張っています。

おいしいクッキーをありがとうございました。母を思い出しました。これからも勉強を頑張りたいと思います。良かったら私を娘のように思っただけでうれしいです。おたよりを待っています。



2. オスカーさんより

○奨学金を受領したお礼



坂本さんがクッキーを作っているところを想像して書いてくれました。

私はウムチョムイーザ学園を卒業した、中学2年生です。皆様の温かいご支援に心から感謝いたします。1学期は良く頑張りましたが、まだまだ点数には満足していません。2学期にはもっと努力していい点が取れるように頑張ります。

私は小さい時に母が亡くなってしまいました。勉強を続けさせてくれたマリールイズさんを2番目の母と思っています。ルワンダに来るたび僕を励ましてください。

日本の皆様の支援があってこそ僕は学び続けることが出来ています。皆様の家族にもよろしくお伝えください。皆様の支援に

あらためて感謝いたします。

3. エディモンさんより

○学園卒業生からのお礼

私は母子家庭で育ちました。母は息子3人をウムチョムイーザ学園で教育を受けさせることが出来た一人です。文字を書くこともできず、学費が払えなくて就学年齢になっても子ども達を小学校に入学させることが出来なかった母に、経験はありませんでしたが学園の建設現場の手伝いをする仕事を与えてくださいました。給料の3分の1を子ども達の学費として支払うことが出来たそうです。建設が終わるとお掃除などで雇用していただきました。

おかげさまで貧しいながらも3番目の私は2016年に高校を卒業することが出来ました。今私は21歳になり、友人と一緒に水石鹸を作るビジネスを始めました。そこで、収入を得ながらさらにコンピュータ関連の上の教育を受けたいと夢を描いています。いつか夢がかなうと信じています。ルワンダの発展のために頑張れる基礎を作ってくださった学園に親子で感謝しています。



「ルワンダカフェ ありがとうパーティ」 6/1

大寺 智子

浪江仮設住宅の中の二本松市にある旧**平石**小学校跡地と**岳下**住民センターグラウンドの 2カ所に毎月第 3 水曜日にルワンダコーヒー・紅茶を持って行った「**ルワンダカフェ**」も福島原発事故から 6 年目となりました。ルイズさんと理由は違うものの故郷に住めなくなって悲しい思いをかかえながら暮らしてきた方々に少しでも癒しの時間を提供し、笑顔になって頂きたい。元気になって頂きたい。そんな思いのルイズさんと同じ思いの方々が出合い、このルワンダカフェに集い楽しい時間を共有してきました。

今年 3 月、浪江もようやく避難指示解除になり、浪江に戻った人、他に住居を得て引っ越した人、引き続き仮設に残った人とそれぞれに分かれてしまいました。そこで、もう一度ルワンダカフェの同窓会のようにこれまでの活動に感謝の気持ちを込め、みなさんに「ありがとうパーティ」と名付けて集まってもらおうということになりました。

その前にルワンダカフェについてざっと紹介します。2016 年度は、4 月～1 月までの 9 回実施し仮設住宅の方参加のべ 190 人、スタッフ（ゲスト含）110 人の計 300 人でした。（鈴木晃代さんの記録による）2011 年はまだ仮設住宅もなく学校や地域の体育館に避難していたので、ルイズさんは、いろいろなところへ行ってコーヒーを提供していました。仮設住宅ができてくるようになり、継続して行けるところということで、2012 年から平石と岳下の 2 カ所に絞り、5 年になりました。ルワンダカフェは年間約 10 回×2 カ所×5 年と計算すると、100 回になります。すごいことです。馴染みの顔に会える楽しみと何よりも毎回ルイズつながりの国際色豊かなゲストが登場するので、我々スタッフもおおいに楽しませて頂きました。



今回の「**ありがとうパーティ**」について報告します。

2時から **Nobby** トランペットのライブ（仮設集会所の外に椅子を出し、爽やかな風を受けて）「シバの女王」「夜空のトランペット」等の名曲を楽しいトークを織り交ぜながら次々に披露。みんな初めて見る 2 つくつついた珍しいトランペットでも演奏。肺活量の限界まで聴かせてくれ、アンコールにも応えてくださったので約 1 時間。

3時から **ケニヤの太鼓のライブ**（集会所内がすごい熱気となる）ケニヤのスラムにマゴソスクールという孤児たちの学校を作った早川千晶さん、太鼓奏者のマサヤさん、マゴソスクール校長のダンさんの迫力満点の歌と演奏。「ハクナマタタ」は、福島弁で「さすけね」（さしつかえない。だいじょうぶ。心配ない） みんなで大きな声を出して「ハクナマタタ」の連発。掛け合いをしながら両手を上に上げて細かくふるわせたり、下げながら低い声で「うお、うお、うお」と腹の底から出したりとアフリカのパワーを全身で体験しました。



4時半から**写真スライドショーやビデオ放映** これまで記録してくれた管野千代子さん・熊谷さん・奥井さんが、作品をまとめ、流して見せてくださいました。懐かしい顔やあの時のワンシーンがよみがえり、会食をしながら盛り上がりました。オードブルには、Nobby さんが海で釣ったアジをフライにしてくれたものも加わりおいしくいただきました。

最後に今日のテーマソング「ありがとう さようなら」を大寺が替え歌に作ってきたのでみんなで歌いました。

おみやげに仮設住宅前の集合写真とスナップ写真を大きくした物をいただきました。



みんなの笑顔忘れません。一人一人が新たなステージを迎え踏み出した浪江の方々。どうぞお元気で！！ 皆さん、これまで本当にありがとう！！

東日本大震災福島原発事故により、福島県浪江町から二本松市平石・岳下の仮設住宅に避難した皆さんと6年間マリールイズと仲間たちが交流を深めてきました。2017年3月の避難指示解除によりそれぞれの人生の再出発を機にこれまでの活動に感謝の気持ちを込め、皆さんに「ありがとうパーティ」と名付けて集まっていただきました。この替え歌は会員の大寺智子さんが「ありがとう さようなら」の曲にあわせて、最後に全員で歌った歌詞です。皆様も口ずさんではいかがですか？温かい思い出を胸にすべての皆さんに幸多かれと祈ります。行先はそれぞれでも、ここでの友情は一生忘れません！お元気で！

「ありがとう さようなら」

一ありがとう さようなら平石

一つずつの笑顔 はずむ声

夏の日差しにも 冬の空の下でも

みんなやさしく つつんでいた

ありがとう さようなら平石

二ありがとう さようなら岳下

走るように過ぎた 六年間

思い出の傷が 残る仮設住宅

みんな集まった 集会所

ありがとう さようなら岳下

三ありがとう さようならルイズさん

おいしかったコーヒー 入れてくれた

新しい風に 夢の翼広げて

一人一人が 飛び立つとき

ありがとう さようならルイズさん

ありがとう さようなら みんなみんな

ありがとう さようなら みんな

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金（学園運営への支援をよろしくお願いします）

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

会費 1口
5,000円

【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在52名登録

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

孫の初めの一步に感動しました。熱性けいれん・気管支炎等弱いのに、笑顔がいっぱい。それだけでバァバは大満足です。物事はシンプルに感じた方が前に進めるかも？

T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリールイズ



〒960-8036

福島県福島市新町 8-21

TEL:024-563-6334 FAX:024-563-6335

ホームページ：<http://www.rwanda-npo.org>

メール：info@rwanda-npo.org